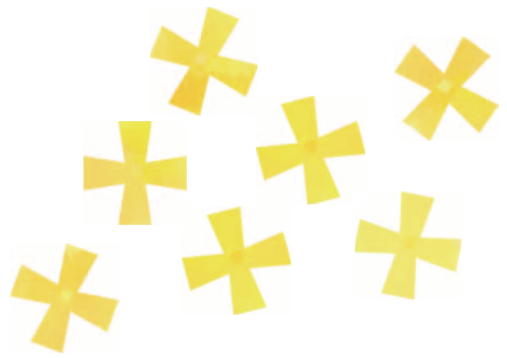


菜の花

NHO IBUSUKI MEDICAL CENTER



No. 53
令和4年9月



知林ヶ島



開聞岳 ひまわり



長崎島のハイビスカス



開聞山麓自然公園

当院のロゴマークは、指宿市が誇る「菜の花」をモチーフにしています。



たくさんの黄色い円は花の部分を表しており、菜の花は小さな花が集まって1つの花を形成しているというように、病院のスタッフ1人ひとりが集まって、病院という組織があるのだということを表現しています。

緑の弧は菜の花の葉と、病院（花の部分）には新しい風が常に舞い込み、また病院が地域に新しい風を送り出しているという「風」のイメージを示しています。

contents

- P.2 指宿市・南九州市における院外心停止患者の救命率向上を目指して
- P.3 就任のご挨拶
- P.4 指宿南九州消防組合との事後検証会
- P.5 職員合同ガーデニング 第2弾～ひまわりプロジェクト～
- P.7 指宿 菜の花通信
- P.8 外来診療担当医一覧

理念

患者さまにやさしく、
地域に信頼される
良質な医療の提供をめざします。

運営方針

- 1 がん診療の治療の向上をめざします。
- 2 成育医療の充実をめざします。
- 3 救急医療の充実をめざします。
- 4 地域医療機関との連携を図り、説明と同意に基づいた安全で質の高い医療をめざします。



指宿市・南九州市における 院外心停止患者の救命率向上を目指して



院長
鹿島 克郎

1990年、国際会議がノルウエーの古跡ウツタイン修道院で開催され、病院外での心停止（out-of-hospital cardiac arrest：OHCA）に関する定義と記録様式が提言されました。これがウツタイン様式の由来ですが、現在、日本全国のOHCA例はこの様式で記録され、2005年、総務省消防庁が採用して以来、年間10万件が登録され日本の誇るべきデータベースになっています。

私は指宿・南九州地区のOHCA例の事後検証を救急救命士と一緒にやってきました。年2回開催されていた救急救命士達との事後検証会と懇親会は、新型コロナパンデミックで2年間開催できませんでしたが、今年夏、事後検証会だけ開催され、救急医療は顔の見える関係が重要であることを再認識いたしました。

2017年1月から2021年12月までの5年間で指宿市・南九州市におけるOHCA例の生存率は4.6%（13/280）でした。救急隊が到着する前のバイスタンダー（居合わせた人）による心肺蘇生法（CPR）の施行率は42.9%と向上し、バイスタンダーが自動体外式除細動器（AED）を使用した場合には生存率が23.5%（4/17）とかなり改善しています。しかし、AEDの使用率は、6.1%とかなり少ない状況です。

公共施設におけるAED設置が普及した一方でOHCA発生の過半数を占める自宅での使用が皆無に等しいためです。

現在、この状況を打破するための方策を指宿消防本部、指宿市役所、指宿医師会と協働し、バイスタンダーCPRとAED普及を推進する啓発活動を計画中です。

具体的には消防団員、観光協会職員、各種事業所に働きかけて、一般市民に指導できる応急手当普及員を現在の約10名から5年かけて100名程度まで増員する計画です。地域社会でAED使用をいかに普及させていくかが最重要課題といえるでしょう。

人生100年といわれる超高齢化社会では、予防医学的視点のみならず救命救急活動を地域社会で担う視点も必要です。今回の事後検証会には打越指宿市長にもご参加頂きました。指宿市・南九州市で救える命は救う仕組みが整うことを願っています。

最後にひまわりプロジェクト（夏バージョン）の成果をご供覧ください。次回には秋バージョン（コスモスプロジェクト）予定です。



就任のご挨拶

5月より統括診療顧問兼麻酔科部長として入職しました。出身は福岡県ですが、鹿児島大学卒業で鹿児島大学病院にて20年以上麻酔科医として勤務し、大学病院では心臓手術、小児手術、ロボット手術といった様々な鹿児島県での先端医療を担当し修練をしてきました。この度、縁あって指宿医療センターで勤務することとなりました。

当病院では消化器外科、産婦人科、泌尿器科の定期手術の麻酔管理を主に担当しています。

消化器外科は長らく1名体制であったのが4月より増員で2名体制となって、定期手術だけでなく緊急手術の症例も増加してきています。以前は鹿児島市内の病院に搬送していたような症例も当院で対応できることが今後も増加していくと思います。特に外科の緊急症例は全身状態が悪い場合も多く、より迅速に対応できるのは患者予後の面でも良好な医療提供ができると思います。

産婦人科は定期手術だけでなく特に緊急帝王切開への対応が重要となってきます。指宿地区での産科医療の中核であるため、産婦人科医師と共同して安全な医療体制をとれるように現在体制を整えています。平日は私が、そして週末は非常勤医師が日中だけでなく夜間も待機することで超緊急の帝王切開にも迅速に対応できるようにしていきたいと考えています。

泌尿器科は小手術でも症例数は多く、地域医療としての重要な役割を担っています。今後は少しずつ手術適応を増やしていく方針とのことですので充分に対応できるようにしていけるよう考えています。

手術件数は現在多くはないですが、指宿地区の基幹病院として当院の役割は重要だと思います。各診療科、病院スタッフ、事務方との連携も取りやすい体制となっているので、今後指宿地区の医療体制がさらに発展していくよう尽力していきたいと思っています。

よろしくお願ひいたします。



統括診療顧問 兼
麻酔科部長
森山 孝宏

指宿南九州消防組合との事後検証会



経営企画係長 江良 真弥

当院では、地域の救急隊員の技術向上のため、年に2回、指宿南九州消防組合との間で救急搬送症例の事後検証会を実施していましたが、コロナ禍のため過去数回は中止となっておりました。そのような中、8月26日(金)、約二年半ぶりに令和4年度第1回目の検証会が当院地域医療研修センターにて開催されました。検証会は、救急隊員が「ホテル5階での心肺停止症例」、当院院長が「南薩医療圏における院外心肺停止患者の事後検証とAED普及活動を主とした地域啓発活動の効果の検証」の2案について発表を行い、それに対して当院の医師や消防組合の方々が意見や助言を行う形式で進められました。また、今回は打越明司指宿市長も来られ、様々な観点から情報交換を行うことができ、双方にとって収穫の多い検証会となりました。



職員合同ガーデニング 第2弾～ひまわりプロジェクト～



業務班長 佐藤 輝宗

令和3年12月に職員合同ガーデニング第1弾“菜の花プロジェクト”として植栽した菜の花も3月上旬には見頃を迎え、患者さん・職員をはじめ、病院を訪れる方に活力を与えてくれた花も一月後には散ってしまいました。

指宿では、春の季節が短く感じられ、あっという間に夏の季節が感じられます。その“夏”

の季語であり、風物詩ともいえる青空に映える黄色い花と言えば、“ひまわり”です。青い空と黄色と緑のひまわりの色合いに、病院の外壁の白が入ると、夏の風景そのものです。太陽に向かってまっすぐ咲いている黄色いひまわりは、見る人に元気を与えてくれます。

そのひまわりを植えるにあたり、指宿市認定農業者会会長である上蘭秀人氏からご指導賜り、5月20日にヘリポートの南側と第2駐車場付近を中心に約200㎡に職員有志の方々により種まきを実施しました。種は、背丈の低い花を咲かせるひまわりと一般的な背丈のひまわりの2種類を植えました。

7月中旬頃に開花を迎えましたが、生憎の雨模様にてスッキリしない日々が続いた最中での開花となりました。咲き始めの頃は朝、東を向いて咲いている状態が、昼には南を向き、夕方には西を向くように咲いており、ひまわり【向日葵】の文字通りとなっておりますが、

次第に東を向いたままで満開を迎えました。また、ひまわりの一部は外来玄関ホールにも飾り、外来患者さんにも元気を与えるような存在となっております。

次回は、職員合同ガーデニング第3弾として、コスモスを植えることを計画しております。



① 除草作業 R4.5.18

除草作業終了

② 種まき作業 R4.5.20

作業に参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

③ 発芽 R4.5.27

種まき作業後7日目で、たくさんの発芽が見られました。

⑥ 種まき後 21 日目 R4.6.10

種まき作業後 21 日目。順調に成長しています。

⑤ 種まき後 21 日目 R4.6.10

種まき作業後 21 日目。順調に成長しています。

④ 発芽 R4.5.27

種まき作業後 7 日目で、たくさんの発芽が見られました。

⑦ 種まき後 34 日目 R4.6.23

種まき作業後 34 日目。手前は背が低い品種です。

⑧ 種まき後 34 日目 R4.6.23

種まき作業後 34 日目。多少背が高くなり始めています。

⑨ 種まき後 55 日目 R4.7.14

背が低い品種については、8分咲くらいかと思うほどたくさん咲いていました。

⑫ 種まき後 61 日目 R4.7.20

ほぼ満開となっています。

⑪ 種まき後 61 日目 R4.7.20

ほぼ満開となっています。

⑩ 種まき後 55 日目 R4.7.14

一番高い位置のひまわりはまだこれからというところです。



田舎医者流儀 (179)・・・小冊子が出来ました



2021年1月より南日本新聞「論点」欄の執筆を求められ、12月まで10回記事を書いた。この10回分を小冊子にしようと、正月明けの1月より準備にかかった。小冊子にするにあたり、新聞社にも了解していただいた。本文、表紙、序文、あとがきそれに前回同様家人の取った花写真などの原稿を編集人AさんとOさんに渡した。

2月末には一次稿が出来上がり、校正を始めた。数回の打ち合わせを経て、6月初めには本が出来上がった。500部印刷し、循環器グループの先生方(約90名)、あとお付き合いのある方約300名計400名近くに郵送した。60名以上の方からやお手紙やメールを頂いた。過分な評価をいただいたことに感謝している。また、家人の花写真が良く取れていると褒められていたので家人は嬉しそうであった。

後輩のT先生はA4紙に3枚半の長文の感想文を寄せてくれた。「全体として先生の視点を通して社会の問題点をまず提起し、社会学と自然科学を組み合わせた視点でその病理や解決策を提示した点がユニークと感じ、双方の学問を結び付けた概念に」共感したと言って頂いた。「サルも小鳥も嘘をつくという章は特に気に入った、人間以外の動物のこのような行動に関して初めて知った」「老医を生きるの章は特に感銘を受けた。『日々、見知らぬ自分と逢うのが老いと言うものか』・・・藤沢周著『世阿弥最後の花』・・・というこの文章がこの章を一行でまとめているように感じた」との感想を戴いた。家人の花写真取りの仲間Sさんも上記の世阿弥の言葉に感動し、この小説『世阿弥最後の花』をぜひ読みたいと言われるので、この本をお貸しした。

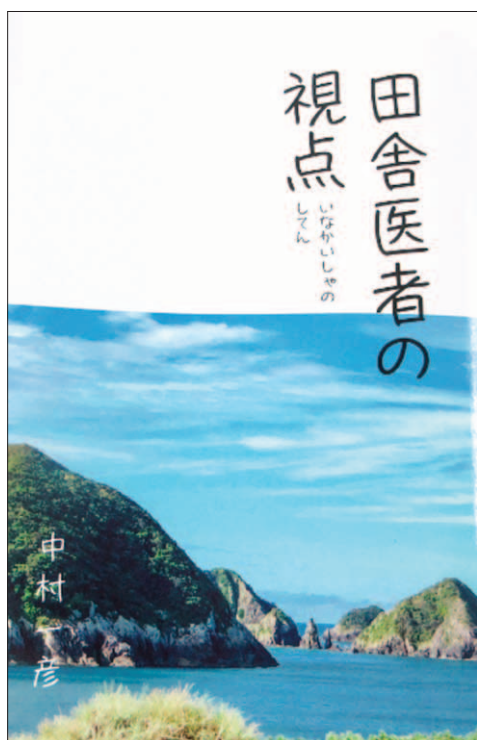
平成30年(2018年)6月に「田舎医者流儀(自家出版)」を出したので2冊目の本になった。それなりにエネルギーのいる作業になるけれど、この時の編集人Aさん、Oさんのコンビが力を貸してくれたので今回も気にいった体裁のものが出来上がった。似顔絵をゴルフ仲間のMさんに書いていただいた、なかなかの出来栄えで評判が良いので嬉しい。

相変わらず指宿医療センターHPに「菜の花通信」を書き続けている。先日200号になった。今は月2回位のペースで書いている。よくそんなに書くことがありますねと言われるけど、不思議にテーマは湧いてくる。知らない事が多いし、面白そうな本があると読みたくなる。本は新聞の書評を見て選んでいる。新聞の書評は日曜日に乗るのでなんとなく日曜の朝はワクワクする。本を読むと書きたいことも多くなる。



指宿医療センターHP 菜の花通信

<https://ibusuki.hosp.go.jp/topic/nanohana-tweet/>



外来診療担当医一覧

令和4年9月1日現在

診療科等		月	火	水	木	金	備考
循環器内科	午前	鹿島	吉重	鹿島山	大川井畑	鹿吉島重	
総合診療内科	午前	大井花田(血液内科)	花田	中村	花田	中村	
消化器内科	午前	羽田	(休診)	門松	千堂	羽田	
肝臓内科	午前		大重		大重		
小児科	午前	中野武	中野武	田邊関	中野武	田邊関	午前診療：8時30分～11時 午後診療：14時～16時 予防接種 (毎週月曜・火曜・木曜：要予約) 受付14時～14時30分 一ヶ月検診 (月・木) 受付13時 (要予約) 3～4・7～8・9～11ヶ月・1歳児健診(火曜) 受付13時45分 (要予約)
	午後 外来	荒武	荒武	関	荒武	関	
	午後 予防接種 健診	中野	中野		中野		
外科	午前	(手術日)	宮蘭風呂井	宮蘭風呂井	(手術日)	(手術日)	
泌尿器科	午前	黒島	(手術日)	黒島	黒島(再診のみ)	黒島	
腎臓内科	午前			潤田		久保	17番診察室にて診察します。 10:00～(要予約)
産婦人科	午前	鮫島瀧	瀧島瀧	(手術日)	鮫島瀧	鮫島瀧	1ヶ月健診 (月・木曜日：要予約) 2週間健診 (月・火・木・金：要予約) 午後診療受付 (水・金曜日以外) 13時30分～15時 (再診のみ) 母乳外来 (毎週火・木曜日) 母親学級 (毎月第2・3水曜日)
	午後	鮫島瀧	瀧島瀧 助産師 母乳外来	助産師 母親学級	鮫島瀧 助産師 母乳外来	(手術日)	
眼科	午前	尾山辻下	尾山辻下	尾山辻下	尾山辻下	尾山辻下	月曜・火曜・水曜は午後から手術のため受付は午前10時までとなります。
	午後	(手術日)	(手術日)	(手術日)	(特殊外来)	(特殊外来)	木曜・金曜の午後は特殊外来(視野検査、レーザー治療、造影検査、硝子体注射など)
専門外来	午前	呼吸器内科	小児外科		脳神経外科		呼吸器内科 毎週月曜日 予約制 呼吸器外科 毎月第2・4木曜日 (14時～16時) 予約制 小児循環器 毎週月・火・木曜日 (14時・15時・16時) 要予約 ※第1・3火は16時のみ 小児外科 毎月第1・3火曜日 (9時45分～14時30分) 要予約 もの忘れ外来 第2・第4水曜日 (14時～16時) 要予約 脳神経外科 毎週木曜日 (9時～16時) 要予約
	午後	呼吸器内科 小児循環器	小児外科 小児循環器	もの忘れ 外来	小児循環器 呼吸器外科 脳神経外科		
内視鏡検査		千門堂松	羽田千門堂松	羽田千堂	羽田井	赤崎堂松	第2・第4木曜日 藤井
整形外科	午前			織田		織田	水曜日・金曜日 9時～17時 受付：(織田先生) 9時～11時・14時～15時30分 鹿大医師(水)・(金) 午後 受付：13時～15時30分
	午後			織田・鹿大医師		織田・鹿大医師	



JRの場合

JR指宿枕崎線に乗車頂き、指宿駅で下車して下さい。
指宿駅から山川行バス(鹿児島交通)にて「指宿医療センター前バス停」(約10分)で下車して下さい。
当院の正面玄関前に停車します。

バスの場合

JR鹿児島中央駅前(鹿児島市)から山川橋行バス(鹿児島交通)にて「指宿医療センター前バス停」で下車して下さい。当院の正面玄関前に停車します。

自動車の場合

鹿児島市からは、産業道路を進んで国道226号線を山川方面へ進んで下さい。
指宿医療センターは国道沿いにあります。

- 受付時間 午前8時15分～午前11時00分
- 診療時間 午前8時30分～午後17時15分
- 休診日 土・日・祝祭日・年末年始 ※急患の方は随時受付いたします。
- 電話番号 0993-22-2231

新型コロナウイルス感染症流行に伴い、
入院患者様への面会を禁止とさせていただきます。
※お問い合わせは、受付時間内です。

発行：独立行政法人国立病院機構 指宿医療センター
〒891-0498 鹿児島県指宿市十二町4145番地
TEL：0993-22-2231 (代表)
FAX：0993-22-2772 (地域医療連携室)
URL：https://ibusuki.hosp.go.jp
印刷：株式会社陽文社

